

平成23年9月～現在までの活動

目 次

1. 会員研修会に参加して	
佐々木 葉子（仙台オープン病院）	86
千葉 幸恵（石巻赤十字病院第2外来）	86
2. リーダーセミナーを終えて	87
3. リーダーセミナー	89
要望書作成体験（グループワーク）	
4. 都道府県支部別会議	90
仙台赤十字病院支部	
5. 第3期政治アカデミー公開講座「選挙戦略」を受講して	92
神林 美和子（宮城県看護連盟幹事長）	
6. ポリナビワークショップ in 熊本に参加して	
相澤 典子（仙石病院）	93
遠藤 雄介（仙石病院）	94
7. 会員募集	95
8. 平成24年度総会ご案内	96

9/24 会員研修会に参加して



仙台オープン病院
佐々木 葉子

当院でもがん患者さんの関わり・介入についてスタッフ間で悩むことがあり、緩和医療チームの認定看護師に依頼・介入してもらい、助言により看護に活かした事例がありました。認定看護師が実際に患者さんと接し、患者さんの思いや希望を聞きスタッフへ情報の伝達・助言をもらうことにより良い結果に繋がったと思います。今回の講義を聞いて改めてがん専門看護師の役割を含め医師、看護師医療ソーシャルワーカー、理学療法士、薬剤師など多職種が連携し、一つとなって看護を提供する重要性を学ぶことができました。私の属している呼吸器内科にも化学療法に伴う副作用で口腔

内に問題を抱えている患者さんも少なくありません。講義で副作用の味覚障害について、味蕾が障害され神経を介して起こる成り立ちや、訴える症状の例で「全部同じ味に感じる」「水を飲んでも苦い」など患者さんにより異なる症状があるということ学びました。口腔内が荒れたまま次の化学療法を行うと口内炎は更に悪化します。看護師の役割として日々の口腔内の観察、セルフケアの指導がとても重要だということを改めて感じました。

障害されやすい部位、障害の段階、対応の方法について知らなかったことが多くとても勉強になりました。今後もよりよい看護が提供できるよう、今回学んだことを日々の業務に活かしていきたいと思います。



石巻赤十字病院第2外来
千葉 幸恵

東日本大震災の発生から半年が過ぎた9月24日。県連盟会員研修に石巻より参加させて頂きました。がんという病気を抱える患者様と常に接している私にとって、今回の研修内容はとても魅力的であり、がん看護に携わる一人として日々のケアの中で患者様の為になるものを何か一つでも得られればという意気込みで研修会場へ向かいました。まず会場に到着し参加者の方々・主催者の方々の活き活きとした雰囲気にもまず圧倒されました。「私が思い描いていた看護師ってこんなイメージだったなあ」と、自分が看護師を目指した時の気持ちを思い出しました。講演に入ってから、がん看護専門看護師松田先生の専門看護師の立場としての苦悩や、今後に向けての課題。私自身とても関

心のある分野なので自然と引き込まれるように聞き入ってしまいました。

摂食・嚥下障害認定看護師大泉先生の講演では、普段何気なく行っている口腔粘膜障害に対するセルフケア支援を、発生のメカニズムから振り返る事ができました。明日からのセルフケア支援において、根拠に基づき患者様へ説明ができると思える内容で、とても良い気付き・学びの機会になりました。この気づき・学びを明日からの看護に活かし皆さまのように活き活きとした看護を行っていきたいと思います。最後になりますが、講師の先生方、研修会を企画して下さいました看護連盟関係者の皆さま、貴重な学びの機会をありがとうございました。

リーダーセミナーを終えて

平成23年9月16日
KKRホテル仙台で
竹澤良子さんを講師
セミナーが開催され

先輩が作った環境
の中で働いている
と改めて思った

国政には看護の
代表が必要

現場での信頼関
係を作ることが
大事である

期日前投票
をしよう

「連盟とは」を周
囲の人に知って
もらいたい

「選挙にいこう」
の声掛けをする

今まで連盟活動を説明
することが難しいと思
っていたが理解できて
よかった

現場のことを伝
えることが大事
だ

支部でミニ研
修を通して声
がけをする

熱

看護の代表者を
選ぶという視点
で投票する

今声に出さなけ
れば変えられな
い

若手の投票が不
可欠なので声掛
けをする

より良い環境で働け
るよう職場の仲間
に声掛けをする

日本看護連盟常任幹事
にお迎えし、リーダー
ました

期日前の投票をする
ことが大事である

活動が理解できた。今後は
看護の代表を送り出す為
に積極的に行動する

変化を起こす為
には国政に訴え
ることが必要

先輩の活動からたく
さんの恩恵を受けて
いることを知った

働きやすい職場を
作る為に努力して
いることがわかっ
た

非会員にも伝え
2年後の選挙に
つなげる

選挙後、議員に結果を求
めがちだったが、それ
には時間、期間がかかると
知った

政治に関心のない人
にも環境をよくするた
めには、看護職の代表
に投票することが必要
なことを話す

今まで硬いイメ
ージだったが身
近に感じた

とても勉強に
なった。今後
に活かしたい

連盟の理解をしっか
りとし、選挙の声がけ
や投票所への誘いを
する

伝導

受講生の1分間スピーチより

リーダーセミナー

9月16日のリーダーセミナーでは患者・利用者等がより質の高い看護を受けられるよう、看護現場を改善すべき内容について、国会議員に要望してみようということで、8グループで様式に則りグループワークを行い要望書を作成してみました。



講師 竹澤良子看護連盟常任理事

平成23年 9月16日

衆議院議員
参議院議員 各位

宮城県看護連盟
氏名：7グループ

要 望 書

要望内容 予算請求及び一部法改正に関する事案

1. 看護職員の人員確保に関する要望

- ・子育て支援の充実（院内保育所、病児・病後児保育の充実）
- ・待遇改善（昇給率を上げる、危険手当・夜勤手当の充実）
- ・寮など住環境の充実
- ・卒後臨床研修期間の国からの給与援助
- ・長期特別休暇が重なる場合の人員補充の義務化

理由

安全・安心の医療を確保し、国民の多様なニーズに対応していくためには、看護職員の人員確保が最優先です。離職防止や職場定着を促進することは極めて重要です。

規定の人数・現状のままでは業務内容に比べ、人員が不足し、残業の増え、新人と比べ、子育ての余裕がなくなり、新人も経験者が離職していく、人手が足りない現状にあります。

待遇を改善し、給与の昇給率を上げ、手当を充実させ、福利厚生や子育て支援の制度化を図ることが必要不可欠です。

上記についてご協力と賜りますようお願いいたします。



都道府県支部別会議

6月末から各県ごと順次、都道府県支部別会議が開催されました。宮城県では9月2・3日の両日KKRホテル仙台に於いて、13支部がそれぞれ第23回参議院選挙の獲得目標数及び戦略の確定を目指し事前準備の上臨みました。その中で仙台赤十字病院支部では戦略案を次のように発表したのを紹介します。

支部長研修

仙台赤十字病院支部
活動戦略案

支部長： 藤野利子
幹事長： 太田やよい

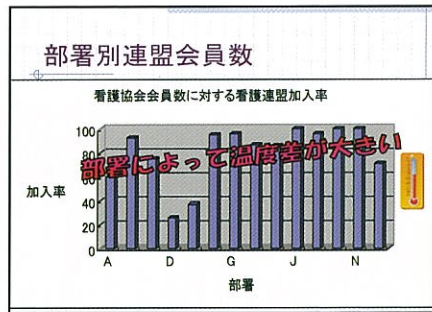
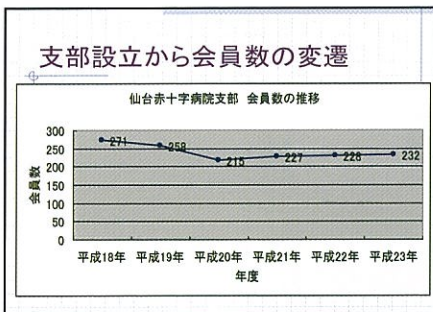
仙台赤十字病院の概要



- ◆ 病院の概要
 - ◆ 診療科目： 23診療科
 - 急性期病院
 - ◆ 病床数： 一般病床 実働359床
 - ◆ 病棟： 8病棟
 - ◆ 看護職員： 助産師 45名
看護師 291名
准看護師 4名
(H23.8.1現在)

仙台赤十字病院支部の概要

- ◆ 看護連盟支部設立 平成18年～
- ◆ 会員数232名(対看護職員数加入71.82%)
- 平成23年1月現在
- ◆ 役員： 支部長1名・幹事長1名・幹事1名
2年任期が基本
- ◆ 部署リーダー：各部署1名 11部署
(今年度は1部署が試験的に2名)



仙台赤十字病院支部の現状分析

◆ SWOT分析

内部環境	強み	弱み
外部環境	機会	脅威

SWOT分析 内部環境 強み

- ◆ 施設支部であり、活動範囲がまとまっている。
- ◆ 看護職員の過半数が会員である。
- ◆ 労組等、施設内にほかに政治活動を行う団体が無い。
- ◆ 若い職員も多く、連盟活動への理解が不足している原因が政治思想に基づくものではない。

SWOT分析 内部環境 弱み

- ◆ 看護職員全員が会員になっていない。
- ◆ 会員全員への基礎研修が終了していない。
- ◆ 部署のリーダーが比較的若い年齢層の会員が多く、部署内での発言力が弱い。
- ◆ 部署により、連盟に対する理解に差がある。
- ◆ 政権交代前後から「自民党」に対して偏見がある。
- ◆ 施設支部であることから、自分の施設にばかり目が行き、他施設の有効な取り組みを知ろうとしなかった。

SWOT分析 外部環境 機会

- ◆ 政局が不安定であり、自民党支持を訴える機会でもある。
- ◆ 看護系議員が増えたことによる功績がある。そこが可視化され、アピールすることで、連盟への正しい理解を促す機会となる。

SWOT分析 外部環境 脅威

- ◆ 第23回参議院選挙では、他の組織も体制を立て直して、組織的に票の獲得に向けて対策を講じてくると考えられる。前回より票の獲得が困難になることが予想される。

重点的に対策を考えるのは

◆ SWOT分析

内部環境	強み	弱み
外部環境	機会	脅威

まだ働きかける力なし...

重点的に対策が必要なポイント

- ◆ 競合するような団体はなく、会員数も多いが、ノンパリの職員が殆どである。
- ◆ 多くの職員は、正しい知識がないまま、「ワイドショー政治」の反応で、連盟活動の理解に無関心である。
- ◆ 部署リーダーの役割が大きいですが、経験が浅く、若年層のリーダーも多いことから、先輩スタッフに効果的な説明ができない。

リーダー達の困難

- ◆ 連盟＝政治活動の勧誘(or自民党)と短絡的にとられ、政治不信を理由に話を聞いてもらえない。
- ◆ 部署の先輩たちが否定的で、選挙の話が憚られる。先輩に話をしても、先輩に否定的に割って入られる。(入会を勧める時と同じ)
- ◆ 選挙期間中に活動をする中、中途半端な知識を持つスタッフから「選挙違反だ!!」と非難され気まずくなる。

リーダー達の困難

- ◆ 自分より上の先輩をお願いづらい。
- ◆ 「連盟はお金ばかり取って、いったい何をしてくれるのか」と非難され、上手く説明できずに引き下がってしまった。
- ◆ 先輩も先輩が無関心だと右倣えになり、働きかけづらい。
- ◆ 選挙に関して、どんな活動ができて何が違反かわからない。

問題点の明確化

◆ 各部署でリーダーが役割を果たせていない。

↓

リーダーに説明するための知識が不足している。

↓

リーダーが説得力を持って説明できない。

↓

リーダーに対する動機付けが弱い

+

選挙に対する知識がない

対策

◆ 仙台赤十字病院支部の獲得目標票数400票を達成するために...

目標!

研修会に参加する。リーダーの役割を自覚、遂行できるよう考える。

説明スキル向上のための学習機会が必要である。

リーダーが看護職に呼びかける際の説明力を養う必要がある。

連盟会員ひとりか二人以上の看護職に投票を呼びかける。

ために... ために... ために...

具体的な活動計画案

平成23年度 仙台赤十字病院支部 活動計画		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
支部長・副支部長の職務	支部長・副支部長の職務									
支部員への呼びかけ	支部員への呼びかけ									
研修会の開催	研修会の開催									
選挙活動の実施	選挙活動の実施									

具体的な活動計画案

実施目標	実施計画		アクションプラン	7月	8月	9月	10月
	達成目標	実施回数					
支部員数の増加	2人	2回	支部員数の増加を促す。支部員への呼びかけを強化する。				
目標とリーダーが連携して活動し、一人ひとりの役割を明確にする。	10人	10回	リーダーが目標と連携し、一人ひとりの役割を明確にする。				
研修会の開催	10人	10回	リーダーが研修会の開催を促す。研修会に参加する。				
選挙活動の実施	8回	8回	選挙活動の実施。一人ひとりの役割を明確にする。				
選挙活動の実施	13人	13回	一人ひとりの役割を明確にする。選挙活動の実施。				

みなさまへ御教示いただきたいこと

当支部の現在の問題点
他の支部の効果的な取り組みを知らないこと...

- ◆ リーダー研修の後の振り返りの持ち方
- ◆ リーダーの研修を踏まえた効果的な動機付けの方法
- ◆ リーダーの自主的な活動を引き出した例
- ◆ 選挙に関する知識の習得の仕方

仙台赤十字病院支部として戦略を考えてみたら...

- ◆ 周りの人の協力が不可欠でした。
- ◆ 「人の教育」という問題に行き着きました。
- ◆ 何かをなさそうする場合、どんなことでもまずは「ひと」ありきだと改めて感じました。
- ◆ 同じ活動をするにしても、このことを大切に活動して行こうと思いました。



第 3 期政治アカデミー公開講座 「選挙戦略」を受講して



宮城県看護連盟幹事長 神林 美和子

去る 2 月 16 日日本看護連盟主催による第 3 期政治アカデミー公開講座「選挙戦略」が開催されました。

はじめに参議院議員候補予定者である石田昌宏氏のご挨拶があり、活動開始を宣言しました。100 名を超す受講者から大きな拍手が湧きあがりました。

本題である講師はアスク株式会社代表取締役三浦博史氏。選挙プランナーとして国会議員や都県知事など数多くの選挙の現場を歩き、培ってきた経験を基にこれからの選挙に役立つ情報を包括した内容でした。

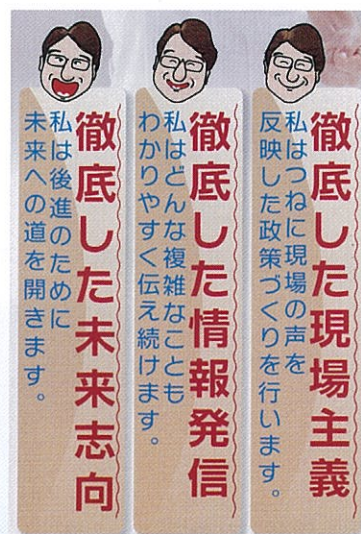
候補者の知名度、認識度を高めるためには、とにかく口コミと熱伝導が重要です。

社会的に、看護連盟に対する嫌悪度はほとんど 0 に近いが組織外の人に候補者をどのように説明するのか、夢と希望と明るさで政治を託することができる人のどこがすごいのか、好きなのか、科学的事実に基づいたエピソードをちゃんと伝えることが大切です。組織選挙はトップの了解を取りながら若手が動くことで効果が期待できるのです。

熱は下から燃えるもの。

選挙は『ネットワーク』型、後援会や選挙事務所には顔を出し知らせることに、また、選挙でお世話になった人には誠意を持って対応する。ツイッターは文殊の知恵と受け止める。スキャンダルに注意する。簡単に動画で発信されるので致命的。フェイスブックをうまく活用していく。選挙は縁とラッキー（運）とキュート（愛嬌）と熱く語られこれからの私たちの活動に対し示唆に富むお話を沢山いただきました。

石田まさひろを応援しましょう！



ポリナビワークショップ in 熊本に参加して

医療法人社団 仙石病院 相澤 典子

ポリナビワークショップに参加し、熊本に全国からたくさんの看護職員が参加していました。たかがい先生も会場に来られてました。熊本の青年部の方たちが主体となり研修会が始まりました。

はじめにたかがい先生による講演があり、そこでは先生の国会での活動内容などを話してくださいました。また今年の3月に東日本大震災があり、国会議員たちがその時、何をしていたかという話を聞くことができました。その後質疑・応答の時間が設けられ、参加者たちからは、自分の職場環境のこと、働きたくても子供を預ける場所がないこと等質問できる時間が持て、とても貴重な時間でした。

続いて、小泉先生の講演があり、現在問題になっている TPP 問題のこと、これからの日本の状況を話してくださいました。また税金が上がること、上がることで医療環境が良くなるものではないと現実問題を聞く事ができました。講演内容は政治的なものでしたが、身近な問題を聞くことができとても勉強になりました。

最後に熊本青年部による寸劇があり、実際の医療現場で起きている問題を取り上げたものでした。看護職の不足により業務が忙しく新人看護師に指導ができない。残業続きであっても手当がつかないという内容でした。寸劇のなかには笑いを取り入れながら行っており、実際にそうだなと思う部分もあり、自分の新人時代のことを思い出し共感できる部分もありました。そんな環境を変えるためには、政治の力を借りなければならない。それにより職場の環境が良くなり、教育する時間が持て、残業時間が無くなるという内容でした。

たかがい恵美子先生の講演会に参加し、青年部の方たちの寸劇をみて、看護と政治はつながっており、看護職で現場を理解しているかたが、国会でもっと私たちが働きやすい環境を作ってもらおうように努力しているということを理解することができました。



◀ 挨拶される重松熊本県看護連盟会長。左手は阿津公子日本看護連盟常任監事と清水日本看護連盟会長。右手は、左からたかがい議員、高島和歌子熊本県看護協会会長



たかがい議員の国政報告



熊本県看護連盟青年部の寸劇に、会場は大爆笑

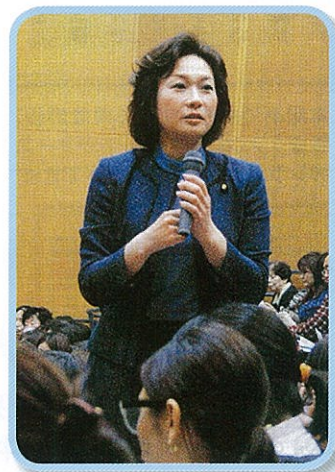
ポリナビワークショップ in 熊本に参加して

医療法人社団 仙石病院 遠藤 雄介

10月31日に熊本県にて、第5回のポリナビワークショップが行われ、全国から約350名の連盟会員が参加しました。会場には、衆議院議員の小泉進次郎先生と参議院議員のたかがい恵美子先生も足を運んで頂き、参加者と直接意見を交換する時間もありました。小泉先生からは、TPPの問題や社会保障についての問題を説明してもらいました。たかがい先生は、会場から子育ての為に一度職場を離れ、子育てが一段落したので再就職したいが、子供を預けられる場所がないため、働きたくても働けない。業務が多忙で、定時に終わらずに、残業になっても残業代がつかない等の現状を聞き、現場の看護職の声を直接聞くことができたので、これを政治の場に持っていき、現場をもっと働きやすい環境に出来るようにしたいと話されていました。会の中では、熊本県看護連盟青年部による寸劇が行われ、看護職の現場で問題になっている人員不足と、業務内容に対して給与が少ないという問題を、政治の力で働きやすい環境に変えていく様子がわかりやすく、そして、面白く表現されていました。ポリナビワークショップ終了後には、懇親会があり、他県の看護連盟の青年部の方々と話をする事ができ、多くの地域で都道府県単位でのポリナビワークショップが企画されていることを知りました。他の医療機関の方と話をする中で、他県でも人員不足という問題が多く聞かれ、看護職全体の問題であるのだと改めて知ることが出来ました。今回ポリナビワークショップに参加して、同年代の男性看護師と話をする機会がなかなか無い中で、多くの男性看護師の話を聞き、みんなそれぞれに頑張っていると感じることができポリナビワークショップに参加して良かったと思いました。



小泉進次郎議員の熱のこもった特別講演



会場から声を聴いたたかがい議員



会員募集!



あなたも宮城県看護連盟に!!

そして、**職場の声**を国政に反映させましょう!

看護連盟を支えるのは、**あなた**です!



年会費 8,000円 (本部会費 5,000円、県会費 3,000円)

賛助会員の入会も随時募集中……年会費 2,000円

(看護連盟の趣旨に賛同いただける方であれば看護師でなくても、どなたでも入会できます。)



ゴア® ふとんで眠ると...

- ムレにくく爽やか!
- とっても軽くてあたたか!
- ホコリの少ない環境に!
- 5年後も羽毛きれい!

きれいな呼吸をするふとん
ゴアふとん



好評発売中!



東洋羽毛北部販売株式会社 仙台営業所
HPアドレス <http://www.toyoumo.co.jp>

〒984-0032 仙台市若林区荒井字堀口41番1号26-67 077507

☎ 0120-023-337

羽毛ふとんのリフォームやクリーニング等、アフターサービスもお気軽に相談ください。



保険に入りすぎている
気がする…
保険料を
もっと安くしたい…

? 保険はよくわからない? そんなご相談にお答えします。

いろいろな保険をまとめて診断

生命保険・医療保険・自動車保険・地震保険・積立保険その他保険の
さまざまな疑問やご相談に中立の立場からアドバイスいたします。

ご相談は、現職の方からご退職の方まで

看護連盟 賛助会員

安心の
総合保険代理店

弘済会システム(株)

仙台市青葉区一番町 1-12-39-305 TEL 022-222-6173

平成24年度総会ご案内

日本看護連盟総会

日時 平成24年6月15日(金)
時間 11:00 ~ 16:30
会場 東京プリンスホテル

宮城県看護連盟総会

日時 平成24年6月30日(土)
時間 10:00 ~
会場 KKR ホテル仙台

あ と が き

宮城県看護連盟は昭和35年12月に誕生し、創立50周年という節目にあたり、記念誌を発刊することができました。

編纂にあたっては、連盟設立の初代支部長久光なみ子姉より資料の提供とともに「生の声」を聞かせていただき、50年の始まりを垣間見ることができました。しかし、歴史の変遷とともに過去の資料が少なく総会資料やRENMEIみやぎ等を参考にし、写真との照合をしながらの作業でした。

平成22年の夏、会員が一致団結し、地元宮城県加美町出身のたかがい恵美子参議院議員を国政の場へ送ることができほったした矢先、翌23年3月に東日本大震災に遭遇し、奪われたたくさんの命、家屋、コミュニティ、めげずにがんばった看護職者のご苦勞を決して忘れることはできません。

激動の50年、ここに至るまでの足跡の中で、大勢の先輩諸姉のご努力、ご支援・ご協力により連盟が成長してきたことに脱帽です。

本記念誌がこれからも看護職の後方支援として、連盟活動の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、清水嘉与子日本看護連盟会長はじめたくさんの先生方からのご祝辞や原稿をお寄せいただきました。深く感謝申し上げます。また出版にあたりご教示いただきました日本看護連盟名誉会員の齋田トキ子様へ御礼申し上げます。

編集委員 岸野すみ子 神林美和子 江田悦子